

政策	42 総合的な福祉の構築						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民（障がい者・高齢者・子育て世代等）						
施策が目指す姿	要支援者の多様なニーズに応じた細やかな福祉サービスの提供が図られている。また、様々な主体による福祉の取り組みが積極的に進められ、地域で支え合い助け合うことのできる環境が整っている。						
成果指標	障がい者に対する支援満足度...平成29年度目標値70%(現状値47.2%) 学童保育・保育所の待機児童数...平成29年度目標値0人(現状値0人) 元気な高齢者の割合(介護保険認定者割合)...平成29年度目標値16%(現状値16%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定					70.00
		実績		52.50		47.20	
	成果指標2 [人]	予定	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績	0.00	5.00	27.00	18.00	
	成果指標3 [%]	予定	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00
		実績	16.00	16.49	16.51	16.00	
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	25,138,372	30,732,093	32,188,967	33,504,173		
	実績	24,316,601	29,639,430	146,607,418	31,748,782		
内部評価	貢献度	支援を必要とする人のニーズに応じた福祉サービスの提供や地域で支え合う環境を整えるためには本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	元気な高齢者の割合は目標を達成しているが、待機児童が18名生じている。民生委員の相談支援件数は減少、障がい者に対する支援満足度は現状値と同じ数値となっている。					
	課題	支援を必要とする人が、住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう多様な主体が連携・協力する地域づくりに取り組む必要がある。					
	取組方針	支援を必要とする人たちが、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくため、多くの関係機関との連携・協働を更に強化し、包括的支援体制の構築を図る。					
外部評価	障がい者に対する支援満足度の目標値に対し実数の乖離が大きすぎるため、目標値の設定に一考を要する。 取組方針が抽象的であるため、方針を明確にすべきである。 支援を要する世帯では課題が一つとは限らないので、複合的な課題解決のため多機関協働による包括的支援体制のより一層の充実を望む。 また、子育て世代、若者世代で日本一となったが、まだ足りない施策もあると思うので、ニーズを把握して事業に取組んで欲しい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4201	総合的な福祉サービス提供体制の構築				68,763	100
	4203	子育て環境の充実				8,615,724	100
	4204	障がい者の自立支援の充実				3,960,143	100
	4205	高齢者の自立支援の充実				16,094,116	100
	4206	低所得者の自立支援の充実				2,664,745	87
	4202	地域福祉の充実				345,291	63

<p>施策</p>	<p>42 総合的な福祉の構築</p>		
<p>区分</p>	<p>妥当性</p>	<p>妥当</p>	<p>支援を必要とする方が、地域で安心して暮らせるように、地域社会での互助・共助、公助等支え合いの仕組みづくりの為に本施策は妥当である。</p>
	<p>コスト削減の余地</p>	<p>有</p>	<p>切れ目の無い支援を提供する中で、必要量を満たしたサービスの提供の新規整備を抑制する等によりコスト削減の余地がある。</p>
	<p>受益者負担</p>	<p>適正</p>	<p>地域で生活していく上で支援を要する方からの負担となるが、サービスの提供等に際し所得に応じた負担等をされており、適正である。</p>
	<p>上位貢献度</p>	<p>有効</p>	<p>地域で安心して生活するため、地域での支え合い助け合う環境の整備のためには相談支援体制の強化等有効である。</p>
	<p>類似事業の有無</p>	<p>無</p>	
	<p>成果向上の余地</p>	<p>有</p>	<p>障がい者、高齢者、こども、生活困窮者等支援を必要とする方に対し、社会資源の整備や連携・協力を強化することにより、更に切れ目の無い支援をすることが出来る。</p>
<p>内部評価</p>	<p>貢献度</p>	<p>要支援者の多様なニーズに応じた細やかな福祉サービスの提供を図り、様々な主体による福祉の取組が積極的に進められることにより、地域で支え合い助け合う環境の整備を促進することができるため、本施策の貢献度は高い。</p>	
	<p>達成状況</p>	<p>障がい者に対する支援満足度については、平成28年度実施した市民アンケート調査の結果、現状値と変わらない数値となった。(H26は障がい者福祉計画策定の際、当事者を対象に実施したもの) 元気な高齢者の割合は目標値を達成。学童保育の待機児童は0人だが、保育所の待機児童が18人となっている。</p>	
	<p>課題</p>	<p>市民の福祉ニーズが多様化・複雑化しているため、多くの関係機関との協力、情報共有により様々な市民のニーズへの対応や、困難な事例への対応が必要となっている。また、市民に身近な課題を地域で受け止め解決する仕組みづくりについて検討する必要がある。</p>	
	<p>取組方針</p>	<p>地域で生活していくには複合的な課題を抱える方も多いため、多機関の連携を強化するとともに、地域の課題を地域で解決できる仕組みを構築していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の認定こども園への移行を促進する事により保育所の定員を増やし待機児童を減少させていきたい。 ・地域支え合い活動に取り組む自治会等への名簿の提供を実施、また、自治会等へ出向き、地域支え合い活動についての説明や相談に乗り、活動への取組みを促している。 ・平成28年度から介護人材不足解消のため、養成講座の開催や専門学校生に対して授業料・就職準備金の補助を実施している。 	